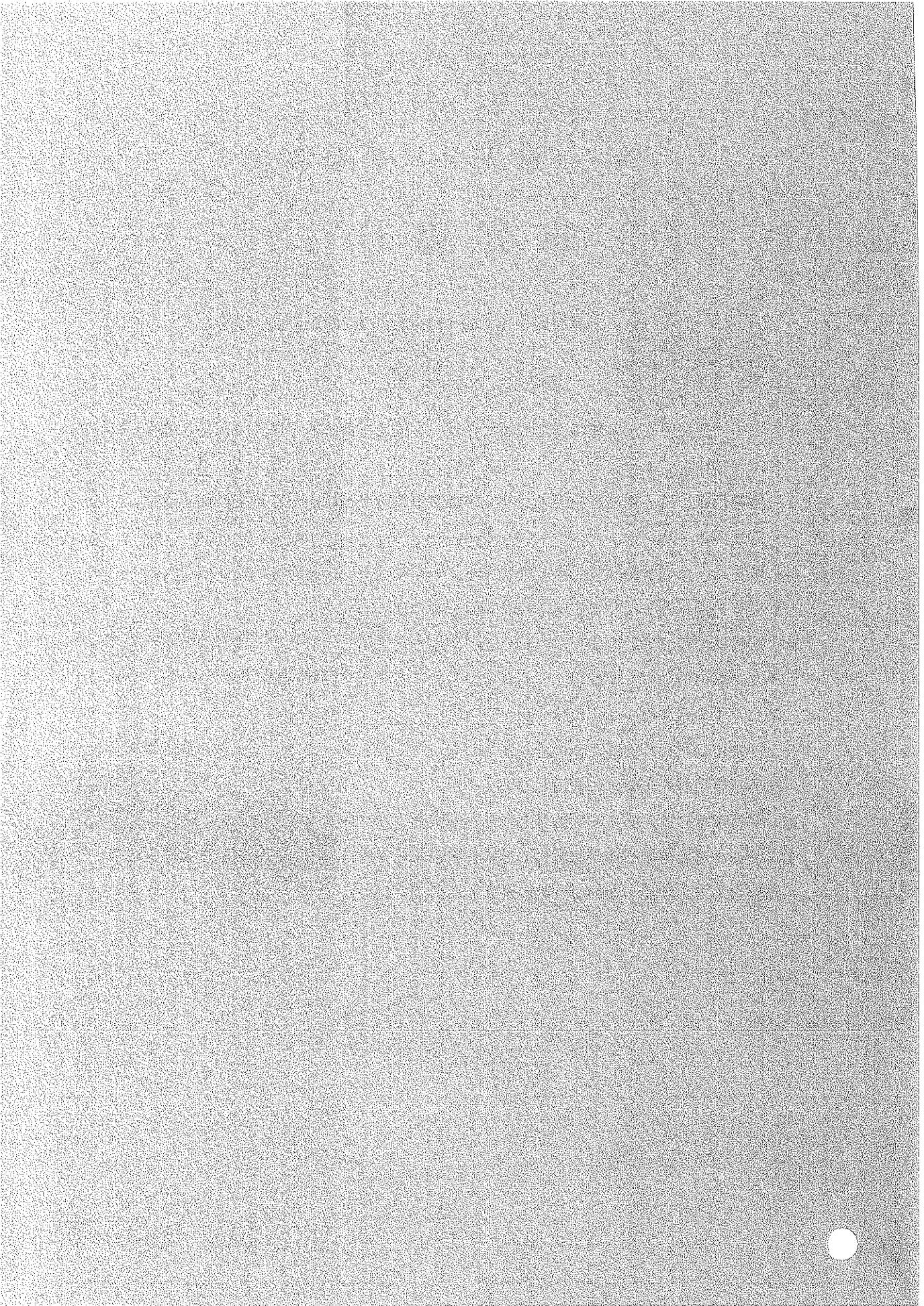


2018 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きには使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。



I つぎの文章（A～C）は、オリンピックやスポーツの歴史について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。（32点）

A いよいよ2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催される。日本はこれからメガスポーツイベントに沸くことになりそうだが、そもそも、なぜ人々はスポーツに参加したり、相互に競争したりするようになったのだろうか。

スポーツ祭典の代名詞とも言えるオリンピックの歴史において、まず挙げられるものに、古代オリンピックがある。古代オリンピックは、いったいつ頃、どのように始まったのであろうか。記録の残るものとしては、紀元前776年にエリスというポリスでおこなわれた祭典が、もっとも古く、通常はこれを第1回とみなしている。この祭典はゼウス神殿の所在地である（ 1 ）でおこなわれたため、（ 1 ）の祭典と呼ばれた。それ以前にも類似した祭典は存在していたようだが詳細な記録はなく、繰り返される戦争によって開催は極めて不定期なものだったと推測されている。

エリスの王イフィトスが度重なる戦争と疫病で衰えた国力を回復しようと、アポロン神の神託所^(a)を訪れた際、神々の怒りを鎮め、ギリシア全土に蔓延していた伝染病を撲滅するための宗教と競技の祭典として、オリンピック競技を再興せよと告げられた。イフィトスは神託を得たのち、ピサの役人アルコンやスパルタの王リュクルゴス^(b)とともに祭典開催に関する規約を制定したと言われている。さらに競技祭期間中はいかなる争いも中止して競技に専念する休戦条約が締結された。こうして古代オリンピックの祭典は、歴^(c)にもとづいて4年に一度開催されるようになり、当初はギリシア人のみの間で実施された。第13回までは、192.28mのスタディオンを一気に駆け抜ける競技のみの開催であったものの、4万人もの見物人を集めたと言われている。この古代オリンピックは、最終的に394年にローマ皇帝によって禁止^(d)されるまで、実に1200年近くも続くことになる。

B 古代オリンピックが多くのギリシアの人々を集めて開催され、1000年以上継続されたのはなぜか。スポーツは遊びの競争が発展したものとされる反面、ルールのある戦争だという解釈もある。古代オリンピックは、各ポリス^(e)の交流とともに都

市国家相互に対するアピールの場でもあり、休戦中に選手たちが軍事力の象徴としてプライドをかけて勝敗を争う場でもあった。そのため民衆が熱狂したのは容易に想像できる。ギリシア人は、古代オリンピックが開催されていない期間中、ポリス間で戦争を繰り返したものの、同じ言語を話し、同じ神々を信仰し、同一の民族意識があった。彼らは異民族のことをわけのわからない言葉で話す人々の意味で（ 2 ）と呼び、それに対して自らを（ 3 ）と呼んで区別した。

紀元前 490 年、マラトンの戦いでは、（ 4 ）がギリシアに大規模な遠征軍を送ったものの、アテネの重装歩兵隊がこれを退けた。マラソンはこの時の勝利の知らせを伝えるために、いち早くアテネ市へ伝令を走らせたことに由来するとも言われている。このようにギリシアは外敵と戦いつつオリンピック中断の危機を乗り越え、民族の団結に自信を深めた結果、アテネが盟主となってデロス同盟が結成された。ちょうどこの頃が古代オリンピック最盛期と一致している。（ 4 ）戦争終結後、紀元前 431 年からギリシア内部でスパルタとアテネが 27 年間争ったペロポネソス戦争の際も、「聖なる休戦」は続き、オリンピック開催は守られたが、神前で神に奉納する競技という純粋な精神はしだいに失われていった。

C マケドニアのフィリッポス 2 世によってギリシア全土が制圧された後も、オリンピックは保護され、さらにアレクサンドロス大王はギリシア文化や宗教に対して寛大な配慮をおこなったことで、純粋な精神性が失われ、形骸化しつつあったオリンピックの体質は一時的に改善した。アレクサンドロス大王の死後、ローマ帝国が勢力を伸ばし、3 回の（ 5 ）戦争を終える頃にはギリシアはローマの属州となっていた。ローマ人はオリンピックの素晴らしさを認識し、ギリシア人だけだった参加資格を、ローマ人も参加できるよう変更させ、オリンピックはローマが支配する地中海全域の様々な地域から参加できる大会となっていった。しかしながらローマ人はオリンピックを賭けの対象としたため、いわゆる八百長が発生し、純粋な競技の祭典としての意味合いは徐々になくなっていった。その後、ネロがローマ皇帝になると、開催年を 2 年遅らせ、自分が出場するために新種目を加え、さらに賄賂と恫喝で自らが優勝するなど、古代オリンピックは衰退を極めた。ギリシア人はしだいに祭典に興味をなくし、優勝者も大部分がギリシア以外の民族が占めるように

なったことからなのであろうか、1000年以上記されてきた優勝者の記録は288回大会以降確認されていない。

設問1 空欄(1～5)に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

設問2 下線部(a)について。ギリシアの各ポリスが重要事項の決定にあたり参考にした神託は何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

設問3 下線部(b)について。リュクルゴス体制(リュクルゴスの制)に関するつぎの記述は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ. スパルタの1万に満たない市民が、被征服先住民で隷属農民とされるペリオイコイや、劣格市民のヘイロータイを支配した。

い. 市民団内部の貧富の差の発生を防ぐため、土地の譲渡や貨幣の使用を禁止した。

う. 他国との自由な行き来を禁止した。

設問4 下線部(c)について。暦に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ. 太陰暦は月の満ち欠けの周期を基準とする暦である。

い. 太陰太陽暦は^{うるうづき}閏月を挿入して、季節のずれを調整した暦である。

う. ユリウス暦は月の運動周期を基準とし、^{うるうづき}閏月を挿入するローマで使用された暦である。

設問5 下線部(d)について。この時のローマ皇帝は、395年に自らの死に際し、2人の子へ帝国を東西に分割して分け与えたとされている。このローマ皇帝の名前を答えなさい。

設問6 下線部(e)について。ポリスには広場があり、市場や集会が催され、市民生活にとって重要な役割を果たした。この広場は何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

設問7 下線部(f)について。ギリシアの軍事力の象徴として、重装歩兵部隊が代表的なものとして挙げられるが、重装歩兵が横長の長方形にかたまって戦った隊形は何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

設問8 下線部(g)について。アテネではその全盛期を支えたペリクレスの死後、民衆が扇動政治家（デマゴーグス）に操られて民主政が弱体化した。この政治状態は何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

設問9 下線部(h)について。アレクサンドロス大王がダレイオス3世と戦いエジプトを征服した後、再度ダレイオス3世と交戦してアケメネス朝を滅亡させた戦いは何というか。その名称を答えなさい。

設問10 下線部(i)について。ヘレニズム時代に現在のスポーツ科学にも通ずる浮力の原理や艇^{てい}の原理を発見した数学・物理学者は誰か。その名前を答えなさい。

設問11 下線部(j)について。首都ローマは、様々な地域から人々が集まり国際都市として栄え、紀元前後の人口は100万人にも達したと推定される。皇帝や貴族などの有力者が、当時の民衆たちからの支持を得るために彼らへ提供したものは、総称して何と呼ばれているか。下記の空欄にあてはまる適切な語句を答えなさい。

「(イ)と(ロ)」

設問12 下線部(k)について。ネロは、キリスト教徒の迫害でも知られているが、
303年キリスト教徒の迫害を命じた皇帝は誰か。その名前を答えなさい。

II つぎの文章(A～C)は、8世紀から14世紀にまたがる中国の歴史について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。(32点)

A 中国は、統一と分裂をくり返しながら徐々に発展してきた。たとえば、907年に、(1)が唐を倒して、後梁を建てて汴州(開封)に都を置いてから、中国は以後70余年におよぶ五代十国の分裂時代を迎えた。そして960年に、後周の武将であった(2)が宋をうち建てて初代皇帝(太祖)となり、第2代の太宗は979年に、中国の大部分を統一し、中国はまた統一の時代を迎えることとなった。

動乱が続いた五代を統一した宋は、755年から763年までの長期間にわたった安史の乱以降、およそ200年間続いてきた藩鎮の割拠と武人の優位を抑える必要性に直面した。そのために、太祖は華南の諸政権を併合したのち、節度使の実権を奪ってそれを解体し、皇帝直属の軍隊(禁軍)を整備し、皇帝に権力を集中した。

また、官吏登用の中心とするために科擧の権威を高め、皇帝独裁の礎とした。そこでは、科擧によって選抜された官僚を重んじる(3)主義がおこなわれ、新興の勢力としての形勢戸の台頭がみられた。しかし、宋にたいする北方民族による圧力の強化や官僚の増員による支出などがかさなり、宋の財政は逼迫し、財政難はさらに深刻化していった。

そこで11世紀の後半、第6代皇帝の神宗は王安石を宰相に登用し、かれに富国強兵策である新法をおこなわせ、根本的な改革をはかった。これによって、宋の財政は一時的に好転したが、保守派の(4)らの反対で、新法の実施はまもなく中止となり、新法党(改革派)と旧法党(反対派)の政争の激化によって、宋の政治は乱れ、その国力はさらに低下していった。

B 1120年代に、金は宋と結んで遼を倒した勢いによって南下し、金への種々の背信行為をくり返していた宋の首都開封を占拠した。そして1127年に、讓位後の前皇帝である徽宗と第9代皇帝(5)らが囚われの身となった。これを靖康の変という。しかし、(5)の弟は江南にのがれて即位して高宗となり、宋を再建した。それを南宋といい、またそれ以前を北宋という。

だが、金の激しい攻撃はその後も続いた。和平と抗戦でゆれるなか、和平派の宰

相（ 6 ）は抗戦派の岳飛を処刑した。そして、ほぼ淮河を境界とし、南宋が金に臣下の礼をとることを条件に、1142年に和議が成立した。そして、南宋は金にたいして、毎年多額の銀や絹などを貢納することとなった。^(c)

こうして、金と南宋とが並立する状況は、およそ1世紀半の間続き、おおむね平和がもたらされ、とくに経済が繁栄した。その後も南宋は、金、さらにはモンゴルの攻勢をしのぎ続けたが、^(d)ついに1276年、元に降伏したのである。

ここで、（ 3 ）主義をささえた宋代の儒学について少しふれておこう。北宋の周敦頤らによっておこされた宋学は、南宋の朱熹（朱子）により朱子学として集大成された。すなわち、華夷や父子・君臣の区別の重要性を説いた大義名分論がそこで唱えられた。そして、この大義名分論にもとづいた編年体の通史が（ 4 ）によって著された『資治通鑑』である。

その一方で、「理」（原理）を追究した朱熹にたいして、（ 7 ）が自己の主観的な主体性（心）の確立とそれにもとづく実践を重視した。それが明代の王陽明に影響を与え、陽明学の成立につながったのである。さらに文学についていえば、宋代においては唐末以来の古文復興運動の流れをくむ蘇軾（蘇東坡）や歐陽脩などの名文家も輩出し、のちの時代に大きな影響を与えたのである。

C 12世紀に遼が金によって滅ぼされると、モンゴル高原の諸部族のあいだでは、統一の動きが強まった。そうしたなかで、テムジンが大興安嶺を中心として遊牧していたモンゴル部の指導者となると、モンゴル高原の統一が実現した。

1206年に、テムジンは有力者などをあつめた会議である（ 8 ）で、首長に推戴され、その頂点に立った。それがチンギス=ハン（成吉思汗）であり、かれは^(e)大モンゴル国（モンゴル=ウルス）をうち建てた。

そのあとを継いだ第2代のオゴダイ=ハン（太宗）は、1234年に金を滅ぼし、華北を領有した。そのち、かれは（ 9 ）を首都とした。その後、第3代のゲユン=ハン（定宗）を継いだ第4代のモンケ=ハン（憲宗）が南宋を攻撃中に急死すると、その弟のフビライ（クビライ）が第5代のハンとして即位した。フビライ=ハン（世祖）は、大都（現在の北京）を都とし、1271年には、元という国号を定め、ここにユーラシア東部を支配する大帝国である元が成立したのである。

元においては、宋代に一世を風靡した道德や礼儀を重んじる儒学は、あまり重用されなくなり、従来型のエリートは元の政治において冷遇されるようになった。つまり、いったん廃止された科挙が1310年代に復活したものの、もはや南人や漢人がかつての強力な影響力を政治の面で発揮できたわけではなかったのである。

その反面、元代の文化^(f)は新たな繁栄を謳歌した。たとえば、宋代以来の庶民文化を象徴する古典的な雑劇である（10）がこの時期に隆盛を迎えることとなった。その代表作としては、『西廂記』や『琵琶記』、そして『漢宮秋』などがあげられる。また、のちの明代に完成をみる『三国志演義』や『水滸伝』、そして『西遊記』の原型もこのときに形づくられたのである。

設問1 空欄（1～10）に入るもっとも適切な語句を答えなさい。なお、（1）（2）（4）（5）（6）（7）には人名が入る。

設問2 下線部(a)について。節度使に関するつぎの記述（あ～う）は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. 7世紀末に唐の高宗によって創設された。
- い. 中国の辺境地帯の防備にあたった。
- う. 徴兵による府兵制にかえて傭兵による募兵制となった軍団を率いた。

設問3 下線部(b)について。形勢戸に関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しいければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

- あ. 律令体制における均田制のもとで、荘園の大土地所有が認められていた。
- い. 門閥貴族の没落後、新興地主層として佃戸などを労働力として荘園の経営をおこなった。
- う. その一部は官戸となり、そのなかから、儒学の教養をそなえ、地域社会をリードする士大夫がうみ出された。

設問4 下線部(c)について。漢民族やその他の民族に関するつぎの記述は正しいか。誤っているものを1つ選んで、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 契丹(キタイ)は後晋の建国を援助して、936年に燕雲十六州を獲得した。
- ② 947年に契丹は国号を遼と改めたのち、北宋の支配下の華北に侵入し、1004年に北宋と澶淵の盟を結んだ。
- ③ 1038年にチベット系のタングートが建てた西夏(大夏)では、西夏文字が作られた。
- ④ 1115年にツングース系の女真(女直)が遼から独立し、完顔阿骨打(太祖)によって金がうち建てられた。
- ⑤ 1125年に遼(契丹)が滅亡したのち、遼の王族であった耶律大石が西遼を興し、1127年に西夏を倒した。

設問5 下線部(d)について。宋代の経済は大きく躍進をとげ、人口も増加し、「蘇湖(江浙)熟すれば天下足る」といわれるようになった。この言葉の意味について、それをもたらした要因を含め、30字以内で説明しなさい。

設問6 下線部(e)について。チンギス=ハンに関するつぎの記述(あ～う)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ. 氏族や部族を解体し、千戸制をしいた。

い. かれの宗教顧問であったパスパ(パクパ)というチベット仏教僧がパスパ文字をつくった。

う. ホラズム=シャー朝を滅ぼした。

設問7 下線部(f)について。元代の文化に関連して、①当時大都を訪れてフビライ=ハンに仕えたマルコ=ポーロの口述をまとめた書物、②同じく大都までいたったイブン=パットゥータが著した書物は何か。それぞれその名称を答えなさい。

Ⅲ つぎの文章（A～C）は冷戦時代の東欧諸国について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。（36点）

A 第二次世界大戦後、東欧では共産党を中心とする政権がつぎつぎと誕生し、ソ連の影響下に組み入れられていった。1948年2月、チェコスロヴァキアでクーデタによって共産党が政権を奪取した。これに対して翌月、英・仏・ベネルクス3国は（1）を締結し、ソ連の影響力拡大の阻止を図った。また同年6月に米・英・仏がドイツの西側管理地区において（2）を実施すると、これに反発してソ連は翌年5月までベルリン封鎖をおこない、戦争の危機が高まった。結果的に1949年、ドイツにおいて東西に分かれた国家が誕生することとなった。一方、トルーマンによる（3）^(a)政策に対抗して、ソ連は1947年にコミンフォルムを組織するとともに、1949年には（4）^(b)を結成して東欧諸国などとの経済的結びつきを強化していった。

B ソ連のスターリンの死は内外に大きな影響を及ぼし、1950年代半ばに入ると、「雪どけ」と呼ばれる緊張緩和の機運もみられたが、東欧諸国においては反政府・反ソを掲げた民衆の運動が起こった。まず1953年6月、東ベルリンをはじめ東ドイツ各地で労働者を中心に民衆が蜂起するが、ソ連軍によって鎮圧された。1956^(c)年には、6月にポーランド西部の都市ポズナニで民主化を求める運動が勃発するものの、統一労働者党第一書記となる（5）が事態を収拾する。ハンガリーでもソ連軍撤退などを求める民主化運動が起こり、同年10月に（6）が首相に就任するが、ソ連圏からの離脱を表明したためソ連軍の全面介入を招く結果となった。ハンガリーにおけるこの一連の出来事は、ハンガリー事件^(d)と呼ばれている。

C 1961年8月、西ベルリン経由での人口流失に悩む東ドイツ政府は、いわゆる「ベルリンの壁」^(e)を建設し、この壁は東西冷戦の象徴となった。しかし、1960年代には東側陣営内においてソ連から距離をとろうとする国家も現れた。チェコスロヴァキアでは、1968年1月に共産党第一書記となった（7）の指導の下で、「（8）」と呼ばれる民主化・自由化路線が敷かれた。こうした路線も、同年8

月、ソ連を中心とするワルシャワ条約機構軍によって抑圧され、その後、ソ連の東欧諸国に対する締め付けが厳しくなった。^(f)

「(8)」でとえられた「人間の顔をした社会主義」、すなわち民主主義的社会主義という思想は、1980年代末の「東欧革命」に至る過程において、ふたたびクローズアップされるようになる。ポーランドでは、1980年以降、(9)を議長とする自主管理労働組合「連帯」がポーランド民主化のシンボルとなった。ソ連でも1985年に共産党書記長となったゴルバチョフがペレストロイカとグラスノスチを掲げて改革路線を推進し、1988年には(10)宣言によって、東欧諸国の独自路線を認めた。こうしたなか、改革を拒み続けた東ドイツでは、1989年に「ベルリンの壁」が崩壊し、翌年には東西ドイツの統一が実現した。^(g)

設問1 空欄(1~10)に入るもっとも適切な語句を答えなさい。なお、(5)(6)(7)(9)には人名が入る。

設問2 下線部(a)について。このとき誕生した西ドイツの初代首相は誰か。その名前を答えなさい。

設問3 下線部(b)について。ソ連に対して自立的政策を推進したために、1948年にこの組織から除名された国はどこか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① アルバニア ② ユーゴスラヴィア ③ ブルガリア
④ ポーランド ⑤ ルーマニア

設問4 下線部(c)について。この年、ソ連共産党第20回大会において秘密報告でスターリン批判をおこなった人物は誰か。その名前を答えなさい。

設問 5 下線部(d)について。ハンガリー事件の最中に勃発し、国際的な注目を集めた出来事はつぎのうちどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① コンゴ動乱 ② アルジェリア戦争 ③ キューバ革命
- ④ スエズ戦争 ⑤ インドシナ戦争

設問 6 下線部(e)について。このときの西ベルリン市長で、その後、西ドイツ首相となり 1970 年代初頭に緊張緩和（デタント）を推進した政治家は誰か。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① ブラント ② シュトレーゼマン ③ コール ④ エーベルト
- ⑤ ホネカー（ホーネッカー）

設問 7 下線部(f)について。このチェコスロヴァキアへの軍事介入を正当化するため、「ブレジネフ=ドクトリン」がとなえられたが、この「ブレジネフ=ドクトリン」とはどのような考えか。40 字以内で答えなさい。

設問 8 下線部(g)について。これより前に起こった出来事として正しいものはつぎのうちどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① チャウシェスク大統領の処刑 ② チェチェン紛争勃発
- ③ チェルノブイリ原子力発電所事故 ④ ソ連で大統領制導入
- ⑤ バルト 3 国の独立回復

